

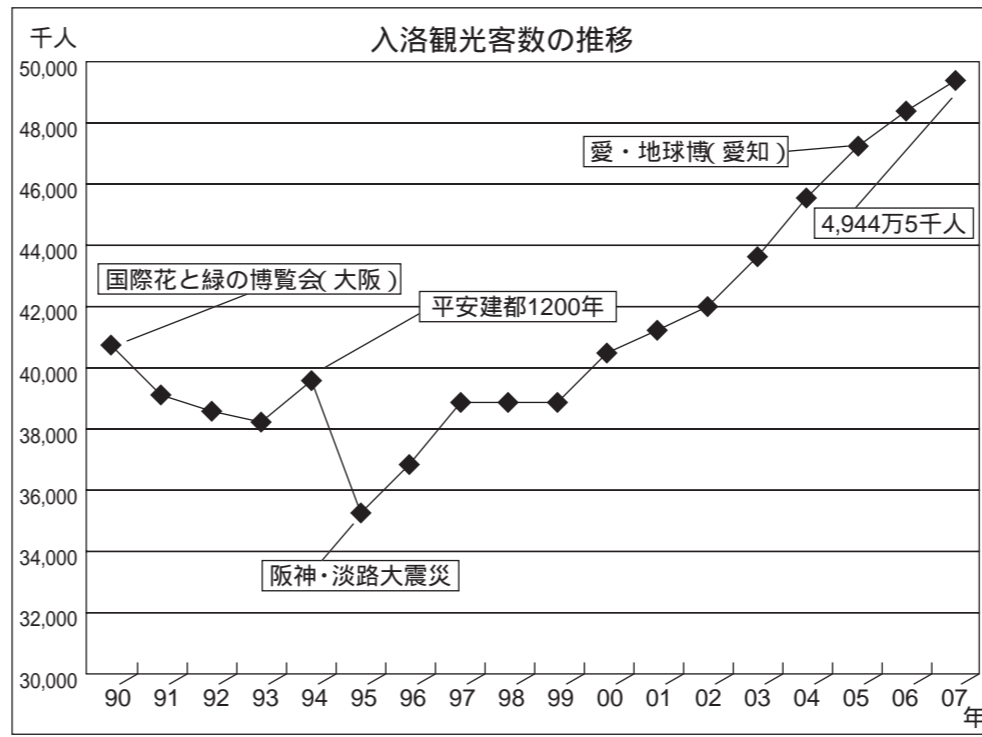
京都市の07年入洛観光客数

約5000万人で過去最高を記録

観光消費額 (単位は百万円。カッコ内は1人当たりの平均金額・円)

区分	07年	06年	対前年比(%)
総合	649,136 (13,128)	637,105 (13,166)	101.9 (99.7)
市内交通費	73,001 (1,476)	72,014 (1,488)	101.4 (99.2)
宿泊代	136,217 (10,513)	131,386 (10,383)	103.7 (101.3)
土産品代	148,188 (2,997)	146,423 (3,026)	101.2 (99.0)
食事代	191,005 (3,863)	187,701 (3,879)	101.8 (99.6)
その他経費	100,725 (2,037)	99,581 (2,058)	101.1 (99.0)
日帰り	251,732 (6,899)	245,692 (6,875)	102.5 (100.3)
市内交通費	33,314 (913)	32,521 (910)	102.4 (100.3)
土産品代	67,868 (1,860)	66,399 (1,858)	102.2 (100.1)
食事代	95,745 (2,624)	92,809 (2,597)	103.2 (101.0)
その他経費	54,805 (1,502)	53,963 (1,510)	101.6 (99.5)
宿泊	397,404 (30,671)	391,414 (30,932)	101.5 (99.2)
市内交通費	39,687 (3,063)	39,493 (3,121)	100.5 (98.1)
宿泊代	136,217 (10,513)	131,386 (10,383)	103.7 (101.3)
土産品代	80,320 (6,199)	80,024 (6,324)	100.4 (98.0)
食事代	95,260 (7,352)	94,892 (7,499)	100.4 (98.0)
その他経費	45,920 (3,544)	45,618 (3,605)	100.7 (98.3)

(注) 日帰り・宿泊別に、各項目ごとの1人当たりの平均金額をサンプル調査から把握し、各項目に対応する観光客数に掛けて消費額を算出した。



京都市がこのほどまとめた07年の「京都市観光調査年報」によると同年の入洛観光客数は前年比2.2%増の4944万5000人となり、7年連続で過去最高を記録した。今回はその一部を紹介する。

日帰り対宿泊の比率は3:1

入洛観光客数を個人、団体別にみると個人客は4452万2000人(2.5%増)、団体客は492万3000人(0.5%減)となった。日帰り、宿泊別に見ると、日帰り客は3648万8000人(2.1%増)、宿泊客は1295万7000人(2.4%増)となっている。

利用交通機関、バスは0.6%減

利用交通機関別に見ると、JR利用客が1736万1000人(3.5%増)、私鉄利用客は1302万5000人(2.7%増)、乗用車利用客は1433万5000人(1.1%増)とそれぞれ増加しているが、バス利用客は472万4000人と0.6%減少した。

50歳以上の女性に人気

観光客の性別を見ると、女性が64.6%と男性を大きく上回っている。年齢別では50歳代以上の割合が高く、48.9%を占めている。

入洛10回以上の再訪者が半数

過去の入洛回数を見ると、10回以上が54.6%と最も多く、次いで5~9回以上が24.7%となっておりリピーターが多いことが分かる。

6割が近畿地方から

出発地別に見ると、近畿地方からが最も多く、全体の62.1%を占めており、次いで関東地方が14.3%、中部地方が12.0%となっている。

宿泊の平均日数は1.68泊

宿泊状況を見ると、1泊が57.5%、2泊が30.6%となっている。宿泊客の平均宿泊日数は1.68泊だった。また、宿泊先としては、71.5%がホテルを、16.5%が旅館を利用してあり、それ以外は12.0%だった。

観光消費額は38円減

観光消費を見ると、観光客1人当たりの平均消費額は1万3128円で、前年より38円(0.3%)減少した。日帰り客は6899円で前年より24円(0.3%)増加し、宿泊客は3万671円で前年より261円(0.8%)減少した。観光客4944万5000人の消費総額は約6491億円となり、前年に比べて約120億円(1.9%)の増加となった。

外国人客数は12万人増

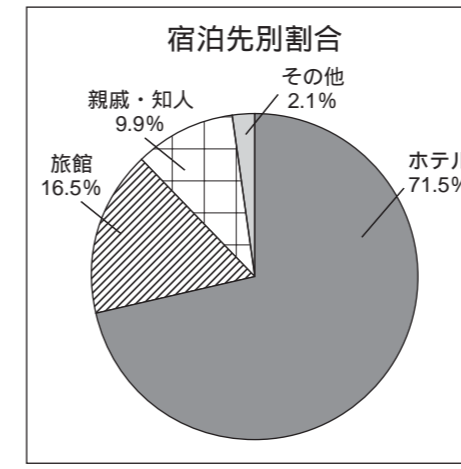
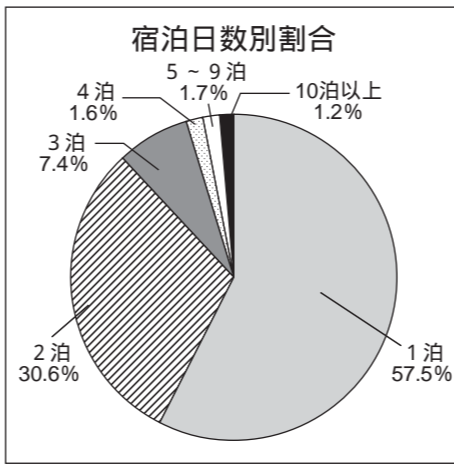
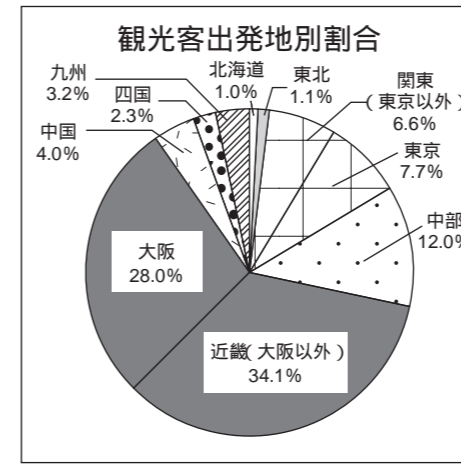
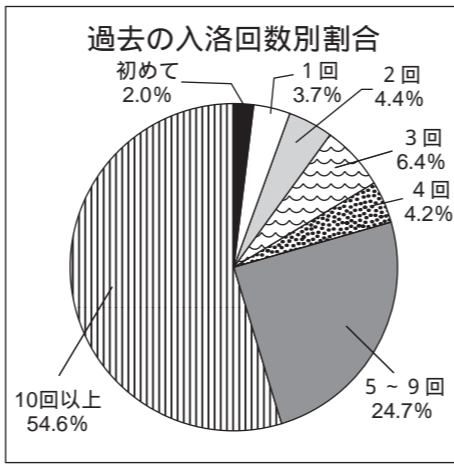
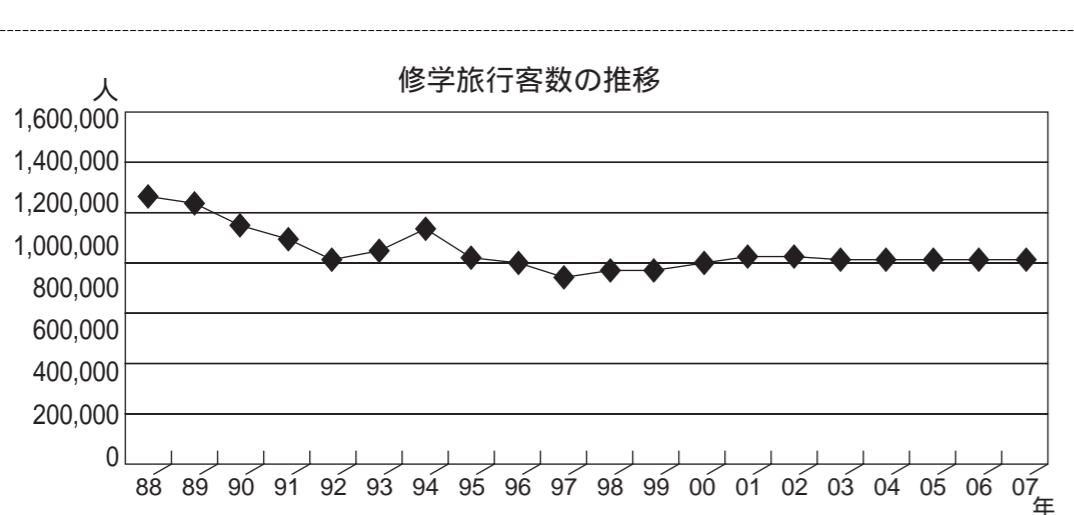
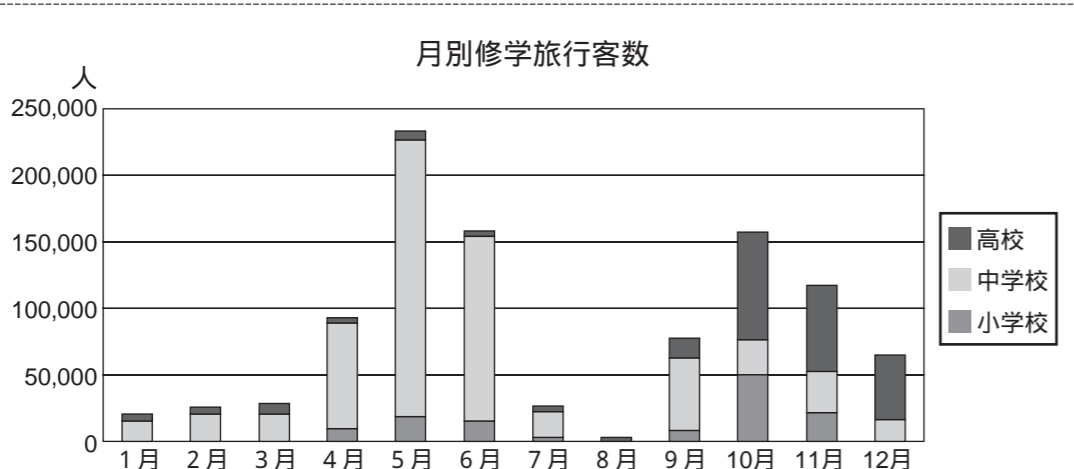
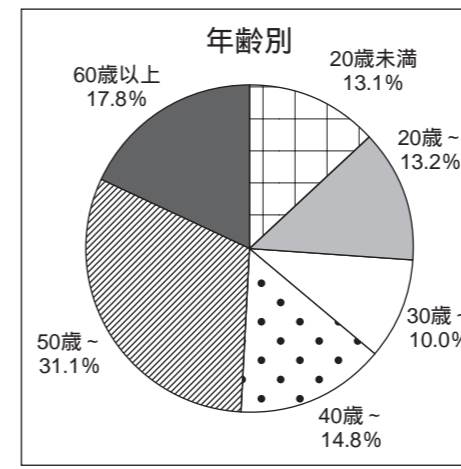
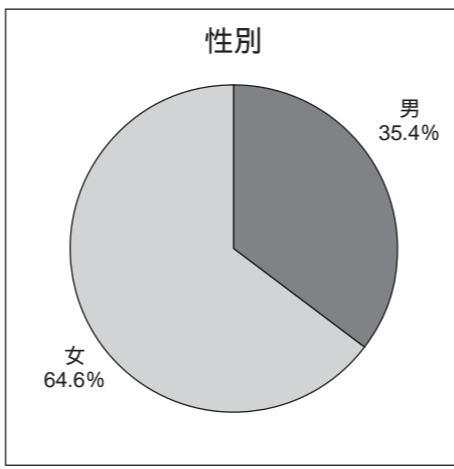
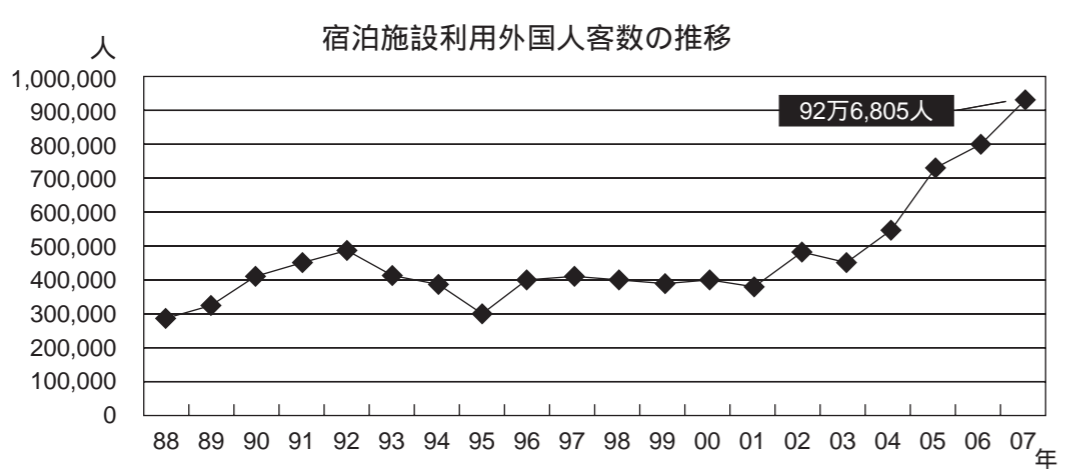
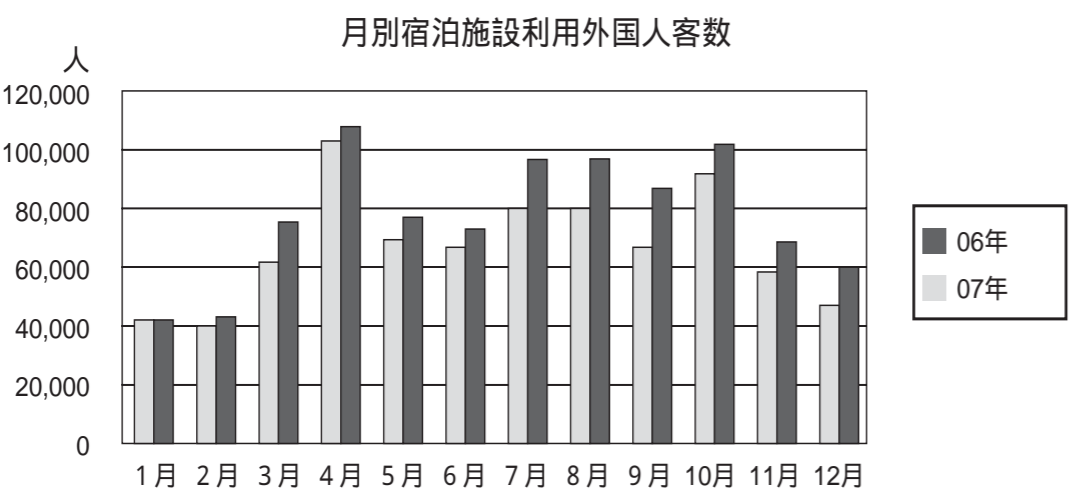
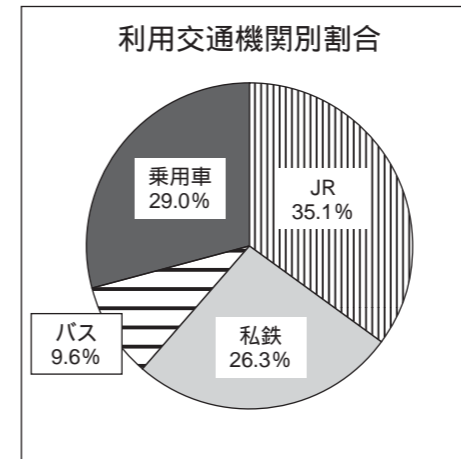
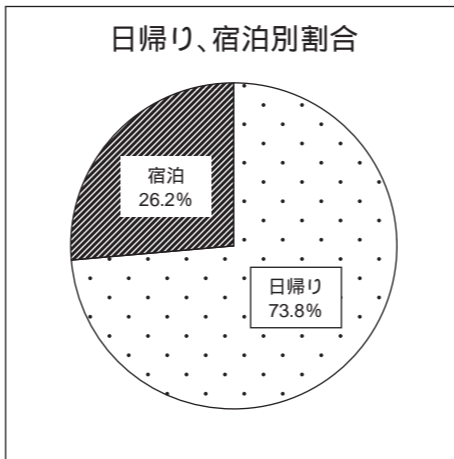
宿泊施設利用外国人客数は92万7000人で、前年に比べ12万4000人(15.5%)の増加となり「4年連続で過去最高記録を更新」(観光企画課)した。①昨年4月に米国、台湾に海外情報拠点を設置②奈良や和歌山、北海道との連携による外客誘致③外国人向け観光ホームページ(HP)の開設などの取り組みが奏功したと見られる。国籍別では、アメリカが最も多く30.9%を占め、28万6000人。続いて台湾13.5%、12万5000人。韓国7.8%、7万2000人。中国5.7%、5万2000人。オーストラリア5.4%、5万人となっている。

修学旅行者数は0.2%増

修学旅行者数は、少子化の進展や地域間競争の激化で減少傾向にあったが、約2000人(0.2%)増の100万5000人と5年ぶりに増加に転じた。内訳は小学校12万4770人(1.1%増)、中学校64万1995人(2.4%増)、高校23万8495人(5.6%減)となっている。

調査方法

調査は京都市内の主要な鉄道駅、観光駐車場など、全15カ所で行った。面接聴取などの方法で行った。



調査データ